

決算報告書

国立大学法人 横浜国立大学

平成25年度 決算報告書

国立大学法人横浜国立大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	8, 120	9, 381	1, 260	注1
施設整備費補助金	1, 243	885	△358	注2
補助金等収入	285	299	13	注3
国立大学財務・経営センター施設 費交付金	45	45	-	
自己収入	5, 884	6, 206	321	
授業料、入学料及び検定料収入	5, 786	5, 757	△29	注4
雑収入	97	449	351	注5
産学連携等研究収入及び寄附金収 入等	1, 805	1, 857	51	注6
目的積立金取崩	224	43	△181	注7
計	17, 609	18, 717	1, 107	
支出				
業務費	14, 229	14, 978	749	
教育研究経費	14, 229	14, 978	749	注8
施設整備費	1, 288	1, 141	△146	注9
補助金等	285	380	94	注10
産学連携等研究経費及び寄附金事 業費等	1, 805	1, 752	△52	注11
計	17, 609	18, 253	644	
収入－支出	-	463	463	

※決算報告書は、百万円未満切捨で作成しています。

○予算と決算の差異について

(注1) 平成25年度復興関連事業による1,311百万円の増、前年度特殊要因退職手当繰越額に係る予算と実際の繰越金額の差異による22百万円の減、並びに平成24年度復興関連事業繰越分の再繰越による28百万円の減により、予算額に比して1,260百万円決算額が多額となっております。

(注2) 平成24年度予備費分で不用額が発生したことに伴う1百万円の減、平成24年度補正予算復興関連事業分の再繰越による84百万円の減、平成24年度補正予算経済対策分の再繰越による59百万円の減、並びに平成24年度補正予算経済対策分の出納整理期間に係る精算払請求による212百万円の減により、予算額に比して358百万円決算額が少額となっております。

(注3) 予算段階では予定していなかった資金の獲得に努めたことによる90百万円の増、当期末収入金分83百万円の減等の理由により、予算金額に比して13百万円決算額が多額となっております。

(注4) 授業料収入24百万円の減、入学料収入3百万円の増、検定料収入7百万円の減により、予算額に比して29百万円決算額が少額となっております。

(注5) 科学研究費補助金等間接経費収入、財産貸付料収入、教員免許更新講習料収

入、有価証券受取利息収入等により、予算額に比して351百万円決算額が多額となっております。

- (注6) 寄附金収入118百万円の減、受託研究収入174百万円の増、共同研究17百万円の減、並びに受託・共同事業収入36百万円の減。一方、前年度以前の収入を財源として、寄附金収入が23百万円の増、受託研究収入が4百万円の増、共同研究収入が21百万円の増、受託・共同事業収入が1百万円の増となり、合計51百万円予算額に比して決算額が多額となっております。
- (注7) 平成22年度剰余金を財源とした目的積立金の支出に伴う取崩額で、事業の翌年度以降への繰越のため予算額に比して決算額が181百万円少額となっております。
- (注8) 平成25年度復興関連事業当初分により1,296百万円増、平成24年度補正予算復興関連事業分の再繰越に伴う28百万円の減、平成25年度復興関連事業の翌年度以降への繰越に伴う58百万円の減、追加分(移転費)による15百万円の増、特殊要因退職手当の翌年度への繰越に伴う461百万円の減等により、予算金額に比して決算金額が749百万円多額となっております。
- (注9) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して146百万円決算金額が少額となっております。
- (注10) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が94百万円多額となっております。
- (注11) (注6)に示した理由、並びに翌期以降への繰越等により、予算額に比して52百万円決算額が少額となっております。